

行政サービスオープンイノベーション推進事業 対象事業

1 健康・予防日本一に向け、市民の健康につながる行動変容を促す

(1) 40代・50代の働き盛り世代の健康意識を ICT、データ活用で改善したい！

健康への無関心層が多い40代・50代の国保加入者における、特定健診受診率向上のための具体的な施策の検討。

2 自然災害リスクに対応し、安心して暮らせるまちをつくる

(1) 農業用水利施設(水門)の遠隔操作により、管理労力軽減を実現したい！

大雨等の異常気象時には、職員が出向いて農業用水の水門の開閉操作を行っている。危険を伴う作業である上、職員体制も限られており、安全かつ効率的な運用が求められている。

(2) 道路沿いにあるブロック塀等の位置調査・管理を効率的に行いたい！

大規模地震時に倒壊の危険のある道路沿いのブロック塀等について、撤去・改善の指導を行っているが、効果を高めるために、市内全域のブロック塀等の設置箇所を把握したい。

(3) アナログな橋梁点検業務を効率化したい！～調書のデジタル化と AI 画像解析による損傷の自動判定～

本市では、職員による定期点検の対象となる橋梁が年間約 200 にのぼる。橋梁保全業務にあたる職員は 2 名であり、1 橋あたりの時間短縮が課題となっている。

3 日本遺産認定を契機に、交流人口・関係人口の拡大につなげる

(1) 祝、日本遺産認定！AI 画像解析等を活用し、観光地の来場者分析と駐車場誘導の効率化により、エリア全体の観光促進につなげたい

- ・東海道エリアにある観光施設「大旅籠柏屋」と「蓮華寺池公園」における来場者属性（性別・年代・来訪元など）を把握したい。
- ・季節イベント時の蓮華寺池公園周辺道路の交通集中に対し、効率的な駐車場誘導により混雑への対策を講じたい。

(2) With コロナ時代の飲食店モデルの実証開発！混雑回避を実現した飲食店の持続的な経営を支援したい

来店者の感染症への不安を払拭しつつ、個人営業の飲食店の良さを引き出せるような With コロナ時代の飲食店モデルの開発。

4 その他

(1) 市内で発生する人身事故件数を減らしたい！～交通安全日本一の都市実現に向けて～

静岡県的人身事故件数は全国 5 位、その中でも本市で起こっている件数は県内 9 位と高く、事故件数の減少に向けた取組みが求められる。

(2) 窓口の待ち時間を短縮（効率化）し、市民の皆さんがスムーズに利用できるようにしたい。

国保年金課が設置する国民健康保険、後期高齢者医療保険、国民年金の窓口案内において、適切な窓口誘導と待ち時間の短縮のための対策を講じたい。